



平成21年7月29日

各位

会社名 日産化学工業株式会社
 代表者名 取締役社長 木下小次郎
 (コード番号 4021 東証第1部)
 問い合わせ先 経営企画部主席 宮崎 貴生
 (TEL 03-3296-8320)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年5月15日に公表した平成22年3月期第2四半期累計期間業績予想の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成22年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	64,000	1,000	1,100	600	3円48銭
今回修正予想 (B)	69,000	4,600	5,200	3,400	19円73銭
増減額 (B-A)	5,000	3,600	4,100	2,800	—
増減率 (%)	7.8%	360.0%	372.7%	466.7%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	81,684	9,524	9,965	6,072	34円24銭

(2) 平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	42,000	0	300	200	1円16銭
今回修正予想 (B)	49,000	3,300	3,300	2,200	12円77銭
増減額 (B-A)	7,000	3,300	3,000	2,000	—
増減率 (%)	16.7%	—	1,000.0%	1,000.0%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

(3) 修正の理由

第1四半期に引き続き、電子材料関連市場では、中国を始めとする各国の消費刺激策などにより、液晶パネルメーカー、半導体メーカーが生産調整を緩和する動きが見られることに伴い、第2四半期においても「サンエバー」、「ARC」など当社主要製品の売上が当初計画を上回る見込みです。

またそれ以外の製品につきましても、「テピック」、「スノーテックス」などの売上が比較的順調に推移していることから、第2四半期累計期間の業績予想を上記の通り修正いたしました。尚、第3四半期以降の事業環境は依然として不透明であることから、通期業績予想についての修正はありません。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上